

「上諏訪温泉朝市」実施事業

取組に至る背景・事業の目的

- 上諏訪温泉・諏訪湖エリアでは、モーニングタイム（朝起きてからチェックアウトまで）の楽しみが少なく、結果として他の観光地への移動を早め、滞在時間の短縮につながる恐れがあった。
- 一方、団塊の世代や女性を中心に、健康への関心や地産地消による安心・安全な農産物等への需要が高まっており、新たな地域資源としての活用が期待されている。
- 平成 24 年、これらの背景をベースに諏訪地方事務所主導で「上諏訪温泉朝市」を試験的に開催したところ、多くの方に楽しんでいただき、今後の発展の可能性を見出すことができた。
- 以上を踏まえ、朝市を地域に根ざしたイベントとして定着させるため、平成 25 年 1 月、「上諏訪温泉朝市の会」を結成し、民間と行政機関との連携により事業を進める体制を整備した。
- なお、行政機関には、諏訪広域からの出店、各方面への発信に寄与していただいた。

事業内容

- 農産物の対面販売
上諏訪温泉・諏訪湖エリアにおける歴史・文化の発信拠点として著名な施設である片倉館において、諏訪広域で収穫された新鮮な農産物、名産品の対面販売を行った。農産物は安全を証するものとして、栽培履歴の提出を依頼し、来場者が閲覧できるよう常備した。
- 併催イベントの実施
オープニングイベント、信州四季旅キャンペーンPRイベント、諏訪市美術館早朝開館等を他団体と協力して実施し、信州のPRや来場者の満足度向上を図った。



【新鮮野菜の対面販売】

事業効果

- 7月28日～9月29日の毎週日曜日の合計9回実施。（1回は台風接近のため中止）
出店者は平均 20.4 店（前年 12.7 店）、来場者は平均 384 名（前年 293 名）と大きく上回り、地元住民への定着が進んだと見られる。
- 来場者の 75%が満足・やや満足と回答し、概ね満足いただける朝市となっている。また、出店者の 67%が満足・やや満足と回答。高いクオリティを確保するために努力・協力をしていただいた結果、質が高く雰囲気の良い朝市を実現することができた。
- 旅館関係者の協力により多くの宿泊客にも来場いただき、新たな観光資源としての活用が図られた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 平成 25 年度は、初期投資や仕組みの構築をする年と位置づけ、実行した。
- 平成 26 年度に向けてアンケート調査や出店者懇談会を3回開催し、開催期間の延長、区画割ルール改正等の改善策を施した。また、出店者による自立的な運営を目指し、企画部会の設置等の組織整備を行った。
- 出店者に対して、栽培履歴の提出、生産者名の掲示、転売の禁止等の条件をお願いし、高いクオリティを維持するよう努めた。
- 県の協力もあり、新鮮な農産物等の販売や長野県観光キャンペーンPRイベントの実施など、大きなアドバンテージを得られたことに感謝したい。
- 地元小学校児童による花苗販売、諏訪東京理科大学によるアンケート調査等、学校や地域との連携を強化している。今後もさらなる連携を深め、地域に愛される朝市を目指してまいりたい。

【選定のポイント】

不足していた早朝に楽しめるイベントを実施することで、滞在時間の延長、観光誘客の促進が期待される。

団体名	上諏訪温泉朝市の会	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	諏訪観光協会（諏訪湖温泉旅館組合）	事業費	378,057円
電話	0266-52-7155	支援金額	300,000円